

しんりんかんだより

年主題

「つながって」～今、わたしを生きる～

冊題 3F/2F おおきくなった/信じる

‘22 第1号 (vol.61)

2022年4月1日発行



「つながって」

コロナ渦の2年が過ぎ、3年目の春を迎えました。感染対策を取りながら、子どもたちの今しかできない経験をどうやって守り実現していくのか、職員みんなで考え、知恵を出し合ってきました。親隣館保育園が大切にしてきたダイナミックな自然体験、少人数ならではの家庭的な雰囲気、縦割り保育の中での子どもどうしの育ち合い、ひとりひとりの個性を受け止め大切にする保育、地域活動を通じた人との繋がりの中で育つこと等々、特に最後の地域活動は、コロナ渦では出来ないことばかりでした。しかし、思いやり冷蔵庫など新たな活動も始まり、コロナ渦だからできることも視野を広げて考える中で、生まれることも学びました。

保育園は社会の入り口、コロナ渦で、その役割の重さも更に身に沁みました。保護者の方が安心して働ける為に保育園はあるのです。そして子どもたちひとりひとりもその役割を担ってくれています。家庭から初めて出る社会が保育園です。初めて出会う友だち、大人、そこでの生活が豊かなものになるように、今年度も心を尽くしていきたいと思います。至らないこともあると思いますが、保護者の方々も保育園に繋がって力を貸していただければと思います。

卒園する保護者の方を最後の日に玄関で見送ったときに「親隣館保育園は卒園で感じがしないな、お家みたいでいつでも帰ってこられそう。」と言って下さいました。涙が出ました。

そんなふうに信頼を寄せてもらえる場所であり続けられるように、また今年度も力を合わせて進んでいきます。どうぞ宜しくお願い致します

(主任 鹿糠正美)